

考古資料の「うつくしさ」とは



秋季企画展


# 芹沢銈介と考古(学)

19|10|5 土 - 12|1 日

開館時間 | 9:00 - 16:30

休館日 | 月曜日 祝日の翌日 (10/14, 11/4, 11/24 は開館)

観覧料 | 一般 300 円 高校・大学生 200 円 小中学生 50 円

 静岡市立登呂博物館



## 芹沢銈介の見る目

静岡市出身の染色家、芹沢銈介（1895-1984）は、世界各地の工芸品の収集家としても知られています。静岡市立芹沢銈介美術館が所蔵する芹沢銈介の収集品の中には、縄文時代から古墳時代にかけての日本の考古資料約50点が含まれています。それらはすべて芹沢銈介の厳しい審美眼に適った「うつくしい」ものです。彼はどのような目で考古資料を見たのか。そして、それらは一般的な考古資料とどう違うのか。芹沢銈介が集めた考古資料をとおして、芹沢銈介の「もの」に対するまなざしをみていきます。



## 考古資料の価値

遺跡で発掘されるものは、土器の破片などがほとんどです。芹沢銈介が収集したような全体のかたちが残っているものは、とても珍しいものです。かたちが整ったものは、確かに貴重で多くの情報を持っています。見た目の「うつくしさ」もあるでしょう。しかし、考古学的な観点からすれば、小さな土器の破片であっても、それはとても価値があるものです。考古資料の価値は、見た目の「うつくしさ」だけではありません。そのものがどの時代のどのようなものであるかということがとても重要です。この展示では、考古資料の「うつくしさ」と「考古的価値」をたどり、探っていきます。すべての考古資料は「うつくしい」と言えるでしょうか？

## 関連事業

### 1 講座「登呂の柄でハンカチを染める」

芹沢銈介にちなみ、登呂遺跡からの出土品の図柄を切って、型紙をつかって、染めて、オリジナルのハンカチをつくりま

日程 | 令和元年 11月3日（日・祝）

時間 | 10:00 - 15:00

会場 | 登呂博物館1階 登呂交流ホール  
増田あいぜん工房（駿河区石田一丁目）

講師 | 増田美佳（増田あいぜん工房）

定員 | 15人（申込順・カッターが使えない子は保護者同伴）

費用 | 2,000円

申込 | 登呂博物館へ電話申込（10/5～）

### 2 講演会「芹沢銈介と考古資料」

芹沢銈介が集めた考古資料とその見方について、長男であり考古学者でもあった芹沢長介の話を交えながら紹介、解説します。

日程 | 令和元年 11月9日（土）

時間 | 13:30 - 15:00

会場 | 登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師 | 濱田淑子（元東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館学芸員）

定員 | 60人（申込順）

費用 | 100円（観覧料別）

申込 | 登呂博物館へ電話申込（10/5～）

- 1 土師器（静岡市立芹沢銈介美術館蔵）
- 2 土師器（静岡市立芹沢銈介美術館蔵）
- 3 縄文土器（静岡市立芹沢銈介美術館蔵）
- 4 土偶（静岡市立芹沢銈介美術館蔵）
- 5 銅鐸（伝奈良県上牧町出土 / 静岡天満宮蔵）
- 6 土器把手（滝戸遺跡 / 富士宮市教育委員会蔵）
- 7 礎板（登呂遺跡 / 登呂博物館蔵）
- 8 土器一括（有東遺跡 / 静岡市教育委員会蔵）
- 9 登呂最中包装紙（芹沢銈介図案 / 新月堂 / 登呂博物館蔵）

### 3 展示解説

日程 | 10/12, 11/23（土）

時間 | 11:00 - 14:00（30分程度）

場所 | 登呂博物館2階

特別・企画展示室

費用 | 無料（要観覧料）

## アクセス



- 《バス》JR 静岡駅南口から約10分  
しずてつジャストライン「登呂遺跡」行きバス終点下車
- 《車》東名静岡ICから約10分  
東名日本平久能山スマートICから約10分  
遺跡南側に有料駐車場有り（普通車一回400円）



〒422-8033 ☎054-285-0476  
静岡県静岡市駿河区登呂五丁目10番5号  
<http://www.shizuoka-toromuseum.jp/>

**静岡市立登呂博物館**